

第3回施設整備委員会 協議結果

開催日時 令和2年3月5日(木) 19時30分から21時20分まで

開催場所 社公民館 2階 研修室

協議事項 (1) 社地域小中一貫校 設計方針案について

(2) 新校舎建設の基本計画について

■社地域小中一貫校 設計方針案について

委員	太陽光発電設備を設置するなど、環境にやさしい施設である必要もある。環境の勉強をする中でエコバックを活用する等、日常生活にとり入れるところにつなげて欲しい。
委員	中庭に生き物が飼えるビオトープのようなものがあればいい。
委員	具体的な意見でいいのであれば意見が出やすい。コンセプトという意見も出にくい。
委員	ユニバーサルデザインを取り入れた施設とは具体的にどのようなものか。
事務局	一般的には教室と廊下の上に段差がないなど、色々な年代・性別に関係なく使いやすいという意味があると考えている。
委員	死角がないように窓の形を考えて欲しい。
事務局	基本設計の段階で具体的な意見をいただきたいと考えている。

■新校舎建設の基本計画について

委員	動線とはどういう意味か。
事務局	先生・生徒の学校生活をする中での移動ルートのことである。
委員	確認だが、別冊は東条の業務委託仕様書であって社のものではないですね。
事務局	あくまで参考であって、今から社地域小中一貫校基本・実施設計作成業務委託仕様書を作成する。
委員	水だけで500トンという話をした、トータルでいくらという話もある。増築計画案は決まった配置ではないと説明があったが、これからの話し合いになるので今出す必要はない。
委員	多くの意見を取り入れるなら、屋上にプールを置く前提で案を出すのはやめて欲しい。
委員	前回予算が69億円と説明があった。少しでも安く検討をされたうえでの69億円か。
事務局	事業費は様々なパターンを検討してきている。全体の事業費を約69億円と見込んでいる。
委員	鉄筋コンクリートか。
事務局	鉄筋コンクリートで検討している。
委員	高速道路は無収縮のものを使っていると思うが劣化してきている。建物のことも考えていかないといけない。

委員	エクspansion等入ると思うが今後検討したい。
委員	現在の社中学校のプールはどうするのか。 プールは何か所作するのか。
事務局	現在のプールは取り壊しをする計画としている。まだ決定ではない。 大プールは25m8コース、小プールは15m×15mを予定している。
委員	現在のプールをもう少し活用できないかと考えている。
委員	今あるプールは小学校低学年も使用できる深さか。
事務局	だいぶ深い、使用できない。
委員	小中一貫校では小プールは必要である。
委員	プールの底を上げ下げして深さが変えられる学校があった。
委員	現在のプールを活用するというのか。
教育長	現在東播磨管内で50mプールはない。25mの新しいプールは深さ1m～1m20cmを考えている。現在のプールはかなり老朽化している。活用するならばほとんどやり直しになる。 現在の校舎は長寿命化して活用する。学校運営しながら増築校舎を建てるならば老朽化したプールは取り壊す流れとなった。全てを残すというわけにはいかない。 プロポーザルでは準備委員会・教職員からいただいた意見を参考に仕様書を作成する。
委員	旧校舎の耐震化の費用はいくらか。
事務局	長寿命化の工事費を約3億円と見込んでいる。 加東市の小中学校の耐震工事は完了している。
委員	プールについての意見交換会は改めてするのか。 プールの半分をかさ上げすれば使えないこともないと思うが、学校長の話によると配管が老朽化して錆がでている。被害などを含めて話し合いをしないといけないと思うが。
事務局	プールを含めて意見を頂きたい。 今後のプロポーザルにつなげていきたい。
委員	総重量がこれくらいになるなど具体的な情報を持ってきて話合わない、頭の中で考えては危険ではないか。 水だけでも500トンになる。他の設備を含めると2,655トンになる。 安全・安心に設計すると業者は言うと思うが、地域の間人として許容するかどうかということではないか。
委員	東の畑を買収して工事の仮設道路として最終的にそこにプールを置く案は考えられないか。
委員	プールを屋上に作るのが心配であれば、1階に屋内プールを作れないのか。 夏暑いので直射日光を避けられる。
事務局	プールの中に柱を設ける必要が出てくる。

	高価になる。
委員	東条小中一貫校の時、最初に案として出ていたかもしれない。 コストの問題でなくなったということで納得している。
教育長	上に重いものが乗っているから危ないということではない。 専門家に話を聞いたうえで議論すべきではないか。
業者	プールが上にあると建物一層分になるかならないかの重さとなる。 プールが上にあると危ないというのは3階建てが4階建てになるとつぶれる のではないかという議論をしていることと同じである。構造計算上は特に問 題はないと考えている。 耐震性は普通の建物より1.25倍の強度を持たせる。100年補修が不要 な計算となる。 プールは防水をした上に水槽があるので特に問題はない、排水は校舎棟のど 真ん中を通すのではなく、別ルートを設定することで問題が起きても解決で きると考えている。
事務局	《追加資料について説明》
委員	1.25倍はどれぐらいの震度に対しての安全率なのか。
業者	今回の規模の建物だと耐震基準に一次設計と二次設計がある。 一次設計では部材にどれだけの強度があるのかで計算し、震度5で建物が倒 壊しないように設計する。 二次設計では震度6に耐えるよう設計する。一次設計に対して4倍の力に耐 える建物となる。 1.25倍というのは普通の建物の耐震力を1とした値を1.25倍したと いうこと。
事務局	6強～7の震度に耐えるように設計していることに加え、さらに1.25倍 の地震に耐えるよう設計している。
委員	地震想定荷重は正規荷重の1.5倍ではないか。
事務局	地震発生時の急激にかかる力ではなく、普段かかっている荷重に1.5倍し た数値が地震想定荷重であり、今回さらに1.25倍した計算となっている。
委員	1.25倍は安全係数。
事務局	学校なので安全係数1.25倍をかけている。
委員	プールを屋上に設置する場合屋根がつくのか。
事務局	決定していないが、屋根がつくことは想定していない。 今後詳細を検討する。
委員	昨年の台風19号で送電鉄塔が倒れた事例があった。それなりの安全率をみ ていたと思うが倒壊した。 使い勝手という面では地上になれば水平移動だが、5階になると上がらなけ ればならないし、こどもが溺れたら救急車に運ぶのも5階から降ろさないとい けない。

	<p>不測の事態が起こることを想定しておかないといけない。 実際運営する先生方にもこの場に同席してもらい議論すべきではないか。</p>
委員	<p>東側の土地を安く手に入れてもらえれば仮設道路を作れる。 公正な図面を出していただいて再度見せていただければと思う。</p>
教育長	<p>教職員の声、開校準備委員会の意見を大事にしながら仕様書に活かしていきたい。すべて取り入れることは難しい、あまり細かく仕様書に書き込むと制約となってしまうことをご理解いただきたい。 屋上プールの安全性についてはある程度ご理解いただけたと思う。 しかし、安全であるがこうした方がいいという意見も含めて検討していきたい。先生の意見とうまく合わせていきたい。</p>
委員	<p>法令上通常の1.25倍の地震に耐えられるように計算しており、地震があったとしても安全であるということを認識しなければならない。 今後、色々な案が出てくることを期待したい。</p>